



西 区を 豊かに

2023年
3月19日発行
第41号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 大谷 一男
事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

ロゴマークの意匠
西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。



豊かな農作物を育む砂丘



探訪できる北国街道



ラムサール条約湿地 佐潟



新川大橋から見る夕日

西区の魅力的な風景 西区八景

第3部会(魅力発信)



大学生がいたる風景



地域で守り・育てる松林



越後平野を水害から守る関屋分水



広大な田園風景

第3部会では、西区に住む人が今以上に西区を好きになり、末長く住み続けたいと思ってもらえるよう、西区の魅力を発掘しました。この発掘した西区の魅力を多くの人に親しんでもらうために、代表的なものを「西区八景」として選定しました。選定にあたっては、「田園と都市がバランスよく調和している」「人と自然の関わりが見える」「西区の特徴があらわされている」などの基準を設けました。西区八景は、決まった写真などはなく、さまざまな角度で楽しむことができます。今後は、八景に関する活動やさまざまな写真などを西区ホームページ(右の二次元コード)を通じて発信していきます。



あなたが好きな西区八景の写真をインスタに投稿しましょう

あなたが選んだ「西区八景」をInstagramに投稿する時は、「#西区八景」をつけてください！また、西区公式Instagram「にしくらし」では、西区八景も含めた西区の魅力を発信しています。ぜひ、フォローをお願いします。



みんなと共に歩んだ環境美化 第1部会(環境美化)

第1部会では、「ごみのないきれいな西区」を目指すために、環境美化に取り組むパートナー団体や個人を募集しました。パートナー団体では16団体の応募があり、それぞれできる環境美化活動を行いました。個人では16人がごみ拾いSNS「ピリカ」に参加。10回以上投稿した5人に賞品をお渡ししました。これからもより多くの人に環境美化に関心を持ってもらうための活動をしていきます。

ごみ拾いSNS「ピリカ」の受賞者を紹介します！



@kireinauminisuruさん

防災を自分ごととして考える

西区自治協議会では、防災を重要課題の一つとし、地域防災力の向上に取り組んでいます。今年度は自治協議会委員を対象に、災害時の疑問や不安に関するアンケートと、自身の行動などをテーマにしたワークショップを開催しました。その中であがった多くの防災に関する課題から、防災について身近に感じてほしい、自分ごととして捉えてほしいと、1月14日、一般の人たちも含めて「日ごろからできる防災」をテーマに防災講演会を開催しました。講演会では、防災システム研究所の山村武彦所長に講師を依頼し、日頃の備えや近所での助け合いの意識づくりの大切さについてお話いただきました。参加者にとっては防災について考えるとても有意義な時間になりました。



防災ワークショップ

——講演会を受けてみて 参加者の声

- 「生き残るためには」に焦点をあてた心に残るお話でした。
- 防災は自分ごととして考えないと意味がないと改めて痛感しました。
- 知識として留めておくのではなく、準備することが大切だと感じました。

重点ポイント	参加いただいたパートナー団体
海岸	新潟西海岸リゾート計画協議会
高速道路側道	黒崎南ふれあい協議会
新幹線側道	(有)アルプスオート
県市道沿線	ラベスト亀貝自治会、(株)第四北越銀行(平島支店、小針南支店、小針支店、内野支店)、黒崎商工会青年部
佐潟	(一財)信越郵便局長協会西蒲北部会
西バイパス側道	下山田自治会、立仏校区ふれあい協議会
その他	第一生命保険(株)内野営業オフィス、(株)第四北越銀行(寺尾支店、坂井支店)、(株)スウェーデンハウス新潟営業所



創立150周年を迎える 西区内の小学校 思い出いっぱい！

パート3

明治5年(1872年)の学制頒布により、西区内では、明治5年に赤塚小学校、大野小学校が、翌6年には、新通小学校、内野小学校、笠木小学校が開校しました。シリーズ最後になる今回は、大野小学校の歴史と卒業生の思い出を紹介します。

大野の誇り「新々舎」

大野小学校

明治5年に開校した大野小学校は、もんねんじ聞念寺大野支坊を借り、「新々舎」と呼ばれて学びの場が始まりました。校歌に「明治のそのかみ世にさきがけて…新々舎ちょう…」とあるように学制が頒布される同5年8月より前の1月に開校。この新々舎が地域住民の誇りとなっています。



現存している聞念寺大野支坊

当時は児童数が増加しており、対処するため、3回の移転を経て、同16年に「金巻小学校」として校舎が完成しました。しかし、同40年の大野大火により校舎が焼失。同43年に新校舎が完成しました。そして、開校から改称や合併などを繰り返し、戦後の昭和22年に「黒埼村立大野小学校」となりました。



明治43年完成の校舎

昭和38年に竣工したかまぼこ型屋根の体育館では、翌年、新潟国体の重量挙げの会場となり、地元大野出身の選手が出場。多くの地域住民が応援に駆け付けました。このように地域住民の誇りである大野小学校。150周年を迎えるにあたって、令和5年の秋に創立150周年記念式典と併せて大野フェスティバルの開催を計画しています。

参考：大野小学校「百十年のあゆみ」

大野の伝統文化を継承しています

大野甚句 サァーエー・キッズ

大野甚句は、江戸時代中期頃から踊られている盆踊りの唄で、平成27年に市民無形文化遺産に指定されています。笛太鼓の囃子に合わせる唄や踊りは一体感を生み、地域の交流の一翼を担っています。



市民団体の大野甚句保存会が地道に後継者を育成し、平成24年に大野小学校の児童を中心に「サァーエー・キッズ」を結成。同校の運動会や黒埼まつりなどの地域行事で披露しています。みんな元気よく「サァー」「エー」と声を張っています。

大野小学校卒業生の思い出話

- 国旗掲揚塔のロープを使ってターザン遊びをしていました。 70代男性
- 新体育館建設のため、水田の埋め立てがありました。水田にすむ鮒が一か所に集まってきたので簡単に捕まえられました。 70代男性
- オリンピックイヤーの文化祭で演劇「ひるがえれ、五輪の旗」に同級生と出演しました。 70代女性
- プールができるまでは、中ノ口川にロープを張った水泳場でした。当時の川水は澄んでいました。 60代女性

取材：広川紀夫

連載を終えて

創立150周年を契機に思うこと

明治5年、太政官より発せられた学制に基づき、いち早く開校した西区内の5つの小学校について、3号にわたって紹介してきました。前年の明治4年に廃藩置県が行われたばかりの混乱冷めやらぬこの時期に、開校へ至ったことは、地域の人たちの「子どもたちに教育を受けさせたい」という思いが、並々ならぬものであったと想像されます。

長い歴史の中で、多くの卒業生を輩出し、幾世代にもわたり地域との関わりがあり、小学校はなくてはならない存在になってきました。しかし、少子化に伴い学校の適正配置が進む中で、学校の統廃合という大きな課題が私たちに課されてきます。また、地域住民も高齢化により思うような地域活動ができていない状況が想像されます。今まで培ってきた小学校を中心とした地域のコミュニティを今後どのような形で維持していくのか、みんなで知恵を出し合って新たなコミュニティの創造が急務ではないでしょうか。(広報紙特別部会長 長澤良徳)

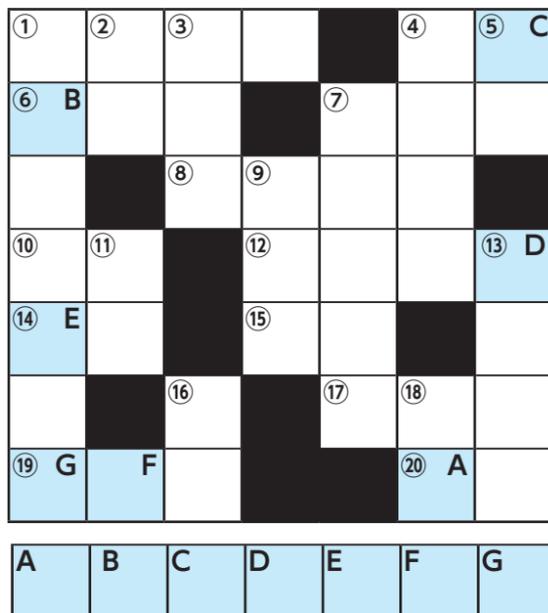
春が来たヨ！クロスワードパズル

タテのカギ

- ①西区内にある旧電鉄跡地の遊歩道の名前
- ②元素記号は「P」。人体に必要なミネラルの一種
- ③雑炊の別の名前
- ④西区特産のおいしい豆
- ⑤小さいけど力持ちな昆虫
- ⑥西区公式Instagramのアカウント名
- ⑦文章の終わりや区切り。○○○点
- ⑧落花生が有名。○○県
- ⑨特殊な感性や考え方を持っている人
- ⑩沖縄県の県庁所在地。○○市
- ⑪白川郷が有名。○○県

ヨコのカギ

- ①冬の代表的な星座。○○○○座
- ④応援します！○○リーダー
- ⑥冷凍食品を調理するときに使います
- ⑦声を出さずにこっそりする笑顔。○○○と笑う
- ⑧鹿児島県にある世界遺産登録された島
- ⑩この広報紙。○○協議会広報紙
- ⑫自分の名前を隠して明かさないうこと
- ⑭ウマ科の中で一番小柄な動物
- ⑮表の反対
- ⑰和歌などを独特の節をつけて歌う芸能
- ⑱サッカーW杯でドイツに歴史的勝利！○○○の歓喜
- ⑳春に紫色の花が咲くつる植物



◆かんたん申込み(下の二次元コード)または、広報紙表面の「事務局」あてに郵送・電子メールでご応募ください。郵送・メールの場合は、クロスワードの答え、広報紙や自治協議会活動についてのご意見、住所・氏名・連絡先を明記。正解者の中から抽選で20人に図書カード千円分を贈呈。◆締め切り3月30日(木)◆当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



とっておきの私の一枚

タイトル

雪だるま



投稿者

まき



一言コメント

初雪に大喜びの娘。スノーウェアに着替え、土まみれの雪だるまが完成。同じポーズでパシャリ^^



○とっておきの私の一枚 ◆あなたの「自慢の写真」(家族・風景・イベント・ペットなど)に住所・氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご

応募ください。(電子メール可)◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。◆締め切り7月末日(9月3日号掲載予定)。◆送付先 / 広報紙表面の「事務局」あて



「西区を豊かに」はパソコン・スマートフォンでもご覧になれます！

編集後記

分かりやすく、見やすい広報紙を心がけ、限られた紙面の中で、一面には西区自治協議会の活動紹介を中心に、二面には各地域の話題を中心に編集してきました。これからも西区民の皆さまに自治協議会を身近に感じていただけるように読んで楽しく、わくわくするような広報紙をお届けしてまいります。(広報紙特別部会 委員一同)